

カルボスルファン粒剤 ガゼット粒剤	取扱メーカー： 石原、日産、琉産 原体メーカー： FMC
成分： カルボスルファン〔カーバメート系 PRTR・1種〕…3.0%	性状： 青色細粒 毒性： 劇物 消防法： —

【品目特性】

- コウチュウ目害虫，チョウ目害虫，アザミウマ類などに対して有効で，広い殺虫スペクトラムを持つ。
- イネミズゾウムシに対し，成虫・幼虫の両方に防除効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

〈水稲（育苗箱）〉

- 移植当日に使用する場合は，育苗箱の上から均一に散布し，葉に付着した薬剤を払い落とし，育苗箱の土壌表面が乾燥している場合は軽く散水して田植機にかけて移植する。
- 移植1～3日前に使用する場合には，散布後通常の管理を移植日まで行う。

【薬効・薬害等の注意】

〈水稲（育苗箱）に使用する場合〉

- 本剤処理により時に葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので，所定の使用量，使用方法を厳守する。

- 適用作物（稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

〈畑作に使用する場合〉

- 土壌が乾燥している時は，処理後灌水する。
- 適用作物（ピーマン）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

- 魚類特にニジマスに強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	カルボスルファンを 含む農薬の総使用回数
水 稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ	1 箱* 当り 40～70g	移植前3日 ～移植当日	1 回	育苗箱の苗の上 から均一に散布 する。	1 回
	イネドロオイムシ	1 箱* 当り 50～70g				
	イネゾウムシ	1 箱* 当り 70g				
さとうきび	イネヒメハモグリバエ	6～9kg	植付時		植溝土壌混和	3 回以内 (植付時の土壌 混和は1回以内， 培土時の土壌 混和は1回以内， 散布は1回以内)
	ヒメトビウンカ					
	ツマグロヨコバイ					
さとうきび	イネシンガレセンチュウ	6～9kg	培土時		株元土壌混和	3 回以内 (植付時の土壌 混和は1回以内， 培土時の土壌 混和は1回以内， 散布は1回以内)
	ハリガネムシ					
さとうきび	メイチュウ類	6～9kg	培土時		株元土壌混和	3 回以内 (植付時の土壌 混和は1回以内， 培土時の土壌 混和は1回以内， 散布は1回以内)
	コガネムシ類幼虫					

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	カルボスルファンを 含む農薬の総使用回数
ピーマン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1g/ 株	育苗期後半	1 回	育苗期後半： 株元散布	1 回
		1～2g/ 株	定植時		定植時：株元散 布又は植穴土 壤混和	
たばこ	アブラムシ類	6kg		3 回以内	作条土壌混和	3 回以内
きく	ネグサレセンチュウ	30kg			全面土壌混和	
	アブラムシ類	2g/ 株 (但し, 18kg/ 10aまで)		株元散布又は 植穴土壌混和		
	ミカンキイロアザミウマ	9kg	株元散布			
ストック	コナガ	18kg	定植時	全面土壌混和	1 回	
		シクラメン				1～2g/ 株
ペゴニア	キンケクチプトゾウムシ幼虫	1～2g/ 株 (但し, 18kg/ 10aまで)	生育期			
プリムラ		キンケクチプトゾウムシ成虫		0.5～2g/ 株		
つつじ類	コガネムシ類	9kg	定植時及び 生育期	2回以内	定植時：全面土 壌混和及び 株元土壌混和 生育期：株元土 壌混和	2 回以内
	ツツジグンバイ	10g/ 株 (但し, 18kg/ 10aまで)	生育期	1 回	株元散布	
イチイ	キンケクチプトゾウムシ幼虫	2g/ 株				1 回
芝	コガネムシ類 シバオサゾウムシ成虫 ケラ	5～10kg	発生初期	3回以内	散布	3 回以内

* 育苗箱は30×60×3cm, 使用土壌約5ℓ

作物名	使用目的	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	カルボスルファンを 含む農薬の総使用回数
芝	ミミズの糞塚形成防 止	5～10 kg	糞塚形成時	3 回 以内	散布	3 回以内
	オオハサミムシの脱 出孔形成防止		脱出孔 形成時			